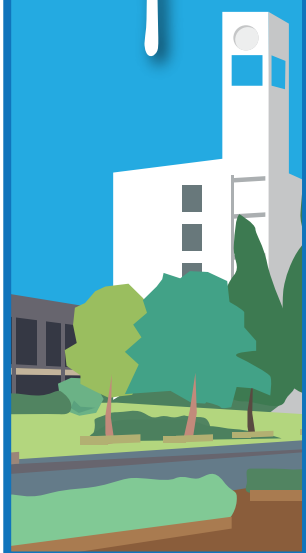


み ゆ き レ タ ー



第29回御幸祭が10月29日、30日に行われました。3年ぶりの開催でしたが、コロナ禍以前と変わらず多くの方にご来場いただき、無事に2日間を終えることができました。

今年度のテーマは「Time is finite.～今この瞬間を大切に～」でした。Time is finite.は、直訳すると時間は有限であるという意味になります。そして、「今この瞬間を大切に」のサブテーマとあわせて、「コロナ禍である今、したいことが制限されている環境ですが、大学祭を通して今この瞬間の様々な経験や人間関係といったものを大切にしたい」という思いを込めました。

御幸祭当日は各学科の日頃の学修の成果を発表しました。特色ある催し物で、ご来場の皆様楽しんでいただけたと感じています。同時にオープンキャンパスも開催し、多くの方に参加していただきました。7号館のメインステージでは、御幸太鼓部、ダンス部の他に、29日(土)は広島FMの大窪シゲキ9ジラジの公開録音を行い、ゲストのハリウッドザコシショウさんが皆さんとともに、御幸祭を盛り上げていただきました。また模擬店は、サークルや部活・仲の良い団体などの学生で出店し、さらに外部の団体も多く参加してくださり、とても盛況で盛り上がりました。

コロナの影響で3年ぶりの開催とった御幸祭で不安もありましたが、教職員の皆様、各企業様、OB・OGの皆様のおかげでご来場していただいた地域の皆様や学生から「御幸祭を経験できて楽しかった。お疲れ様。」とお声がけをいただき、御幸祭運営委員一同この企画に携われたことを大変うれしく思っています。

第29回御幸祭に足を運んでいただいた皆様が福山平成大学の魅力や雰囲気に触れ、楽しい時間だったと感じていただけたら幸いです。来年度からも御幸祭をより活気あるものにし、皆様の心に残る大学祭にしたいと考えております。

最後になりましたが、今年の大学祭が無事に開催できたことは、ご協力くださいました地域の方々、関係者の皆様のおかげです。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



第29回御幸祭運営委員会
委員長 立石 うた



福祉学科

今夏の実習報告



介護福祉士実習では、介護の必要性が高い高齢者の生活の場である特別養護老人ホームで実習を行いました。実習では、要介護高齢者ひとり一人の支援に必要な課題を抽出するためのアセスメントに重点を置いた学びを行いました。実習が終わった後には報告会を行い、これから実習に取り組む1年生に学んだ成果を伝えました。

精神保健福祉士実習は、精神科病院と精神障害者が利用する福祉サービス事業所で行いました。福祉サービス事業所では地域に暮らす精神障害のある人たちが、どのような支えを得ながら地域住民の一人として生きているのかを、直接学ぶことができました。

このような実習での貴重な学びを重ねて、学生たちは4年生の1〜2月に行われる国家試験の合格を目指し、一歩ずつ歩みを進めています。

教授 藤井 宏明

健康スポーツ科学科

大成杯(ゼミ対抗運動会)



健康スポーツ科学科では、10月31日(月)に大成杯争奪ゼミ対抗運動会を開催しました。この大成杯は、初代学科長の大成浄志教授より優勝杯を寄贈して頂き、企画運営を学生リーダー主体で実施している、異学年交流を目的とした学科伝統行事です。企画運営を行っている学生リーダーは、感染対策を講じながら、みんなが楽しめるよう準備を進めてきました。

秋晴れのもと、学科全学年と学科教員が一堂に集まった大成杯は、前回優勝の三宅ゼミの選手宣誓でスタートし、楽しく、そして白熱した戦いが繰り広げられました。グループ対抗種目である、ハリケーン、大縄跳び、綱引きでは、チームワークよく、そして迫力のある見応え十分な戦いが繰り広げられ、応援にも力が入っていました。またゼミ対抗種目である、借り物(者)競争では、借りる側も借りられる側も、観客もみんなが楽しめるお題がたくさんあり、盛り上がりっていました。恒例の障害物競走は、小学生ぶりのフラフープ回しに大苦戦する学生やさすがは健スポという華麗なハードリング、腕立て伏せやバービージャンプなどなかなかハードな種目もあり、健スポらしい障害物競争となりました。

そして最後は、ゼミ対抗リレーに教員も特別枠で参加し、全員がそれぞれの距離を激走しました。普段見せない姿と、全教員が参加するノリの良さで学生たちも大いに盛り上がりました。また、閉会式後にはテント講習が行われ、テントの設営方法を学びました。

この3年間はコロナ禍のため、大成杯を開催することができず、健康スポーツ科学科の大切な伝統が途切れてしまっているのではないかと考えることもありましたが、学生たちの一致団結した姿を見ることができ、これからも健スポの良き伝統を受け継いでくれると確信することができた一日となりました。

助教 石井 智紋

こども学科

『実習報告』

こども学科3年の保育士や幼稚園教諭を目指す学生は、8月の保育実習、9月の幼稚園実習、そして10月下旬から施設実習を行い、小学校教諭を目指す学生は、9月以降11月頃までの間に教育実習と、これまで本学で身につけてきた保育者、教育者としての知識や技術を実習で実践的に学んでいます。

コロナ禍の折りですが、実習を受け入れてくださっている学校、施設、保育所、こども園、幼稚園のご協力のおかげで、しっかりと実習を行うことができています。

今年度の3年生は、コロナ禍が始まった時に入学してきた学年で遠隔授業への対応など、これまでの学生生活の様相が大きく変化してきた中で学んできた学生たちです。実習に送り出す教員側は、将来の保育者、教育者たちが大学で学んだことをしっかりと身につけているかどうか成果が問われます。

依然としてコロナ禍の終わりは見えませんが、実習を終えた学生たちに大きな課題は出ていません。これまでの実習生同様、積極的に頑張っています。入学早々遠隔授業にも対応してきた学生たちは、新たな時代への順応性が鍛えられ、実習にもうまく対応しているのかもしれない。

学生たちは、実習に行き、子どもたちと関わることで、新たな課題を発見しつつ、楽しかった「子どもたちが可愛かった」と憧れの職業についてます学んでいこうと考えています。コロナ禍であっても、これまでどおり、温かく、時に厳しく学生たちと学びを深めていきたいと考えています。

講師 佐伯 岳春



学科トピックス

看護学科

国際ソロプチミスト福山特別賞受賞



理を経験することのない男性や生理による不調がない女性が、生理の症状である生理痛や月経前症候群に苦しむ女性に対して、「仕事や学校を休むのは甘えた」と偏見を抱くことも少なくありません。私自身、生理の症状で苦しんでいる時に寄り添ってもらえなかった経験があり、つらい思いをしました。目に見えなくても、生理でつらい時は劣りの言葉が掛けられてしまうと、とても心が救われます。

老若男女問わず生理についての理解を深め、あらゆる女性が生活しやすい社会になっていくことを望んでいます。この作品を通して、生理についてと生理に関する悩みを抱える女性の思いに理解が深まることを願っています。

2年 大村 莉子

今回は、賞を受賞した作品は、1人の女性に周囲の人々が寄り添う様子を描きました。周囲に描いた人々は、パートナーや友人、職場の方です。この周囲の人々は、日常生活の中なかかわりが多く、深い人々であり、一番理解してほしい人々です。

以前に比べ、生理に対する社会的な理解は少しずつ深まってきましたが、まだ生理に対する理解が未熟なところがあるように感じています。生理でつらい時は劣りの言葉が掛けられてしまうと、とても心が救われます。

老若男女問わず生理についての理解を深め、あらゆる女性が生活しやすい社会になっていくことを望んでいます。この作品を通して、生理についてと生理に関する悩みを抱える女性の思いに理解が深まることを願っています。

経営学科

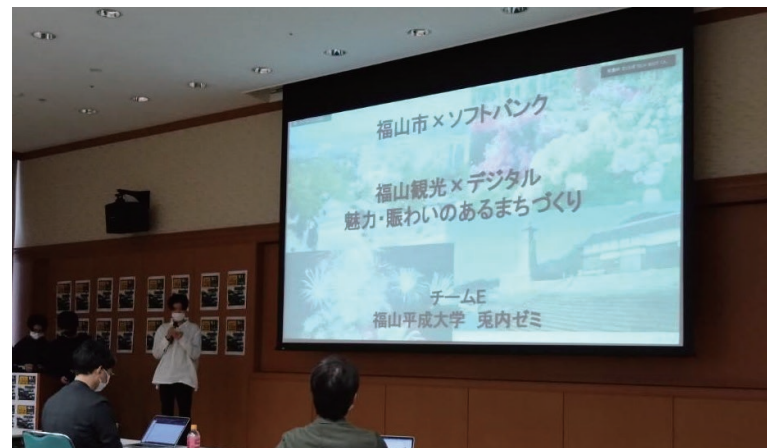
ソフトバンクの特別講座に参加して

ソフトバンク株式会社と福山市が連携で主催している福山市の大学生向けイベント「せとらぼ TECH BOOT CAMP」に参加しました。これは、特別講座を受講し、グループ対抗でテクノロジを活用して福山市の課題解決を提案する9日間のイベントです。

初日は、このプロジェクトや起業についての講座を受けました。その後の6日間でデジタル技術についての動画講義を受けました。また、ソフトバンクのデジタル化推進拠点「せとらぼ Tech LAB」の見学に行き、遠隔操作のシヨベルカーやダンブカー、タブレット操作のドローン、VRのゲームなどを実際に体験しました。これらを踏まえて、最後の2日間はグループ活動と発表会でした。グループ活動では、社員の方にサポートしてもらいながら、福山の良さと課題について意見を出し合い、発表するテーマや解決策を話し合いました。私のグループは、福山市の観光資源の少なさという課題に着目し、メタバースとVR技術を用いて観光資源を増やし、賑わいのあるまちづくりを目指す提案を考えました。講義やLABで学んだ技術などを検討しながら、どのデジタル技術を組み込めばよいのかについて考えることに苦戦しました。最後の発表会で他のグループの提案を聞くと、課題の着目点が同じでも解決のために使う技術や使い方が異なっていて、デジタル技術の活用方向性は広く、より良い解決に向けて様々な案を考えることが大切だと思いました。

ソフトバンクの社員や福山市の職員の方と関わりながら私たちの考えを聞いてもらえる機会をいただけて、大変貴重な経験になりました。このイベントを通して、曖昧な印象しかなかったデジタル技術について学ぶことができました。また、発表の仕方や構成、見やすいスライドの作り方、短期間に案や解決方法を考えるスピード感を教えてもらいました。今後の活動の中でも、限られた期間の中で、伝わりやすい提案やプレゼンができるように工夫していきたいです。

3年 箕浦 亜友



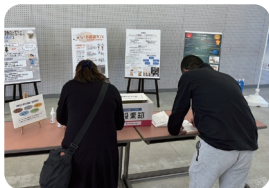
第29回 福山平成大学 御幸祭

2022.
10/29 sat • 30 sun

経営学科 経営学科の御幸祭展示

准教授 本田 良平

経営学科は教育内容の紹介、教員の研究発表、そして1年生による「夢の大学内店舗コンテスト」の展示を行いました。同コンテストでは、福山平成大学内に作りたいお店を授業の中でグループで話し合い、そのアイデアをまとめたパネルを作成しました。そして御幸祭当日、そのパネルを来場者の皆様にご覧頂き、気に入ったお店に投票して頂きました。多忙な現代の学生視点からの癒しや寛ぎを求める発想、SDGsへの配慮等に関心してくださる方、実際に出店するよう励ましてくださる方、地域交流も意識するようご意見くださる方など、多様な反応を頂いたのは収穫でした。1年生の皆さん、皆様に頂いた反応を糧に、これからも経営学的思索を深めていってください。



福祉学科 大学祭報告

教授 中嶋 裕子

福祉学科が新たに開講した科目をモチーフとした3つの企画を開催しました。

まずは、「備後地域の産業を支える障がい者福祉サービス事業所大集合」です。5か所の就労支援事業所が自慢の製品を販売しました。事業所利用者さんたちも学生たちと商品のPRをしたことで予想をはるかに上回る売り上げを出しました！

二つ目は地域にある多頭飼育崩壊などの課題を考えるための「SAVE THE 保護犬・保護猫！チャリティー体験！」です。アクセサリを作り、団体に寄付するチャリティー体験をしていただきました。

三つ目は、「あの映画が！この映画が！福祉と関係！？」です。2日にわたって学生たちのプレゼンテーションスライドを展示紹介しました。

おかげさまで大盛況となりました。来年も福祉学科らしい企画で盛り上げていきます！



こども学科 大学祭報告

講師 佐伯 岳春

こども学科では、御幸祭を子どもと一緒にたくさん笑顔と思い出を作る場所にしようという目標で、『「みんなの遊び場」～たくさん笑顔を創ろう～』とテーマ設定し、前期の頃から教育内容として準備を進めました。こども学科棟の各教室と芝生広場を使い、基礎ゼミごとに趣向を凝らした内容を学生が企画しました。御幸祭前にはチラシを作り、周辺の保育所やこども園、幼稚園、公民館に学生が配布もしました。お陰様で、好天に恵まれ、2日間で1000人以上の方にご来場いただき、こども学科の各ブースで子どもたちの沢山の笑顔が見られました。実際に多くの子と関わり、学生は保育者や教育者として大きく成長したと考えています。



健康スポーツ科学科 御幸祭を終えて

助教 石井 智紋

健康スポーツ科学科では、「体力測定」のテーマで、握力、足指筋力、全身反応時間、ステップング、ビジョントレーニングを測定し、健康指導や相談、学科行事などを紹介したパネルを展示しました。

今年は天候にも恵まれ、ご家族連れやグループなど、2日間で約260名の方が測定にいられました。参加者からは「コロナ禍で外出を控えていたので、どれくらい体力が落ちているか心配だった」「もう一回やりたい、楽しい」という声が聞かれました。また周りの皆さんからも「がんばれ～」という声援があり、大変盛り上がった測定になりました。

学生スタッフも地域の方との交流を楽しみながら、授業などで学修したことを活かして測定にあたるたのではないかと思います。こういったイベントを通して学んだことをこれからの学生生活に生かしてほしいと思います。



看護学科 御幸祭実行委員を経験して 1年 森藤 真衣

今回の御幸祭は3年ぶりの開催でした。御幸祭当日の2日間は青空が広がる学園祭日和となりました。普段は学生と教員しかいない学内に、小さな子どもからご年配の方まで多くの方が賑わっている景色を見て、コロナ禍の前に戻ったような、なんだか懐かしい気持ちになりました。入学してからコロナ禍の影響で学年を超えての交流がなかったので初めての大学行事はとても新鮮で思い出に残るものになりました。

学科発表では、「健康教室」癒しの空間と題し、身体測定などを行い血圧測定の技術や地域の方々への接し方など、2年生の先輩方の姿から学ぶものがたくさんありました。来年は私たちが中心となって後輩を引っ張っていく立場になるので、日頃の講義や演習を通して看護の知識や技術をしっかりと身につけていこうと思います。

この実行委員での経験を今後の大学生活や来年の御幸祭に活かしていきたいです。



令和4年度 サークル活動記録

2022/11/9

男子バレーボール部

天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会広島県ラウンド
7/9～7/10 猫田記念体育館

優勝

天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会中国ブロックラウンド
9/10～11 広島県立総合体育館

準優勝

第96回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会
10/1～30 広島経済大学 他

準優勝

第75回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
11/29～12/4 大田区総合体育館 他

2回戦

ソフトテニス部

第42回全日本大学ソフトテニス王座決定戦
6/18～19 セキスイハイムスーパーアリーナ

男子団体 予選敗退

女子団体 予選敗退

令和4年西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会

令和4年西日本学生ソフトテニス選手権大会

令和4年西日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会
7/2～6 今治市営スポーツパークテニスコート

男子団体 ベスト16

女子団体 ベスト16

第72回中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会
8/25～29 水島緑地福田公園テニスコート

男子団体 **準優勝**

女子団体 **準優勝**

男子ダブルス **準優勝** 野中 晴生(健スポ3)・渡邊勇太郎(健スポ3)ペア

女子ダブルス **優勝** 岡崎あゆみ(健スポ2)・犬飼のどか(こども2)ペア

女子シングルス **優勝** 岡崎あゆみ(健スポ2)

準優勝 柴田 真衣(健スポ1)

3位 犬飼のどか(こども2) 仁田 百花(こども1)

第76回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会

第77回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会

第64回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会
9/2～6 宇部市中央公園テニスコート 他

男子団体戦 2回戦

女子団体戦 2回戦

軟式野球部

第27回中国地区大学軟式野球連盟秋季リーグ戦
9/19～10/1 笠岡市営球場 他

準優勝

剣道部

第70回全日本学生剣道選手権大会
7/3 日本武道館

1回戦 眞鍋 颯(健スポ2)

陸上競技部

秩父宮杯第75回西日本学生陸上競技対校選手権大会
7/1～3 愛媛県総合運動公園陸上競技場

男子 走高跳 3位 小林 祐大(健スポ2)

女子 10000m競歩 4位 三好 彩奈(こども3)

男子 400m 8位 檜垣 正昭(健スポM1)

日本グランプリシリーズ
札幌大会第35回南部忠平記念陸上競技大会
7/10 厚部公園競技場

男子 走高跳 8位 小林 祐大(健スポ2)

天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会
9/9～11 たけびしスタジアム京都

男子 400m 出場

男子 走高跳 出場

女子 10000m競歩 出場

第45回中国四国学生陸上競技選手権大会
(混成競技以外)
10/28～30 広島総合グラウンド

男子 走高跳 1位 小林 祐大(健スポ2)

女子 走高跳 1位 槇本 和音(健スポ3)

男子 400m 2位 檜垣 正昭(健スポM1)



大学行事日程

2022	行事	学務関係
12月	10 土 公募推薦型選抜B 21 水 冬期休業開始 28 水 仕事納め	21 木 後期集中講義開始

2023	行事	学務関係
1月	5 木 仕事始め 7 土 冬期休業終了 10 火 授業開始 13 金 共通テスト会場設営 14 土・15日 大学入学共通テスト 30 月 後期授業終了 1/31火～2/3金 一般選抜前期A	

2023	行事	学務関係
2月	15 水 学部学科別行事 28 火 一般選抜前期B 21 火	4 土 後期定期試験 14 火

2023	行事	学務関係
3月	1 水 春季休業開始 11 土 一般選抜後期 18 土 春の見学会 21 火 学位記授与式(卒業式)	

令和5年度 入学者選抜日程

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
一般選抜前期	A日程 1月31日(火)・2月1日(水) 2月 2日(木)・2月3日(金)	全学部	1月 5日(木)～ 1月24日(火)	2月 8日(水)	2月20日(月)
	B日程 2月21日(火)	全学部	2月 4日(土)～ 2月15日(水)	2月24日(金)	3月 6日(月)
一般選抜後期	3月11日(土)	全学部	2月22日(水)～ 3月 7日(火)	3月15日(水)	3月27日(月)
大学入学共通 テスト利用選抜	前期 個別学力試験は課さない	全学部	1月 5日(木)～ 1月24日(火)	2月10日(金)	2月20日(月)
	後期 個別学力試験は課さない	全学部	2月22日(水)～ 3月 7日(火)	3月15日(水)	3月27日(月)

※備考: 大学入学共通テスト 1/14(土)・1/15(日)



一、真理を求め、道理の実践を志向する。
二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

御幸五訓

令和4年度公開講座報告

今年度の公開講座は新型コロナウイルスの感染対策を行いながらではありますが、3年ぶりに対面での講演となりました。9月8日(木)～10月6日(木)で全5回開催しました。

また、最終講座終了後には閉講式が行われ杉本委員長の挨拶の後、5講座中4講座以上受講された110名の方に「受講証」が授与されました。



第1講 9/8(木)	日本と韓国における 社会経済的格差と福祉	福祉学科 崔 銀珠 准教授
第2講 9/15(木)	あなたは、何のために学ぶのか? ～予測困難な時代に突入する社会と教育～	こども学科 足立登志也 准教授
第3講 9/22(木)	事業承継の2025年問題を考える	経営学科 堀越 昌和 教授
第4講 9/29(木)	心と身体を元気にする身だしなみ・化粧 ～今日からできる簡単なコツ～	看護学科 大元 雅代 講師
第5講 10/6(木)	身体知を考える	健康スポーツ科学科 森澤 桂 教授

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)
発行 福山平成大学
発行日 2022年12月20日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <https://www.heisei-u.ac.jp>